

いよいよ梅の季節が到来！ 本県産生梅『白加賀』を京浜3市場で宣伝！

京浜市場における共計生梅消費宣伝 実施概要

- 開催日／平成29年6月2日(金) 6:00～7:00
- 場 所／大田市場（東京青果(株)）
築地市場（東京シティ青果(株)）
横浜市中央卸売市場本場（横浜丸中青果(株)）
- 主 催／共計生梅運営委員会
- 内 容／梅ジュース試飲等による本県産生梅の消費宣伝

本県産生梅の出荷開始（共計）に合わせて、京浜における主要市場3社の土間にて、梅ジュースの試飲提供や簡単レシピ等の配布を通じて生梅の消費宣伝が行われました。早朝の活気ある青果市場にて、季節の到来を告げる梅のPRはどの市場でもにぎわいを見せました。本県産生梅の出荷は7月上旬頃まで続きます。

生梅の季節到来！京浜地域の主要3市場で本県産生梅の消費宣伝を同時開催

本県産の共計生梅が5月29日に今季初出荷となり、6月2週目から出荷ピークを迎えることから、本県共計生梅運営委員会では京浜地域の3市場において本県産のPRを行いました。会場では、梅ジュース（「JAはぐくみの白」）の試飲提供とともに簡単調理リーフレット等の配布を行いながら、今年の出来具合や仕上がり状況、ピークとなる時期などを買参人等へ説明しながらPRを行いました。

試飲した方々からは、「この（梅の）時期がいよいよ来た。」「群馬はもの（品質）がいいから楽しみにしていた。」など高い評価もあったほか、出荷時期や肥大状況、玉流れ（規格別の出荷量）などについて問い合わせも多く聞かれました。

今後も本県及び東北地方のイベントや量販店での消費宣伝も予定されています。



大田市場でのPRの様子



築地市場でのPR



横浜市中央卸売市場でのPR



配布したリーフレットなど

今年は少雨からやや遅れているが“品質良好” 中盤からの出荷増加に期待！

本県産生梅の主要品種「白加賀」は、販売体制強化や有利販売を目的に6JA（前橋市、はぐくみ、甘楽富岡、碓氷安中、北群渋川、にったみどり）で共同計算・共同販売を実施しています。

今年の梅は開花期間は長かったものの、開花中や生育中の天候不順、さらに肥大期の降雨も少なかったことなどから生育遅れが見られています。5月29日(月)には共計の初出荷となり、今後6月第2～3週が出荷ピークとなると見込まれています。また、最大産地である和歌山県についても本県同様に生育の遅れが見られているそうです。

昨年の本県産は例年に無いほどの不作となりましたが、販売店のほか加工業者等の需要も高かったことから高単価が確保されました。

そのため産地では生産意欲の高まりも見られ、ここ数年低迷する本県梅産地の再生、再興に向けた機運を高めるきっかけになっています。この流れを止めずにさらに加速させるためにも、本県が立ち上げた『「ぐんまのウメ」産地再生プロジェクト』を中心に、生産や販売、加工等での総合的な取組の更なる推進が期待されます。



本県産生梅「白加賀」